



(株)豊田自動織機様 ボランティアありがとうございました

6月14日(日)株豊田自動織機 社会貢献グループ 東知多工場 班長会と学友会の20名の方々が今回7度目の福祉施設ボランティアに来てくださいました。ふだん手の届かない所の作業をしていただき大変きれいになりました。

作業後は、「りんりん日曜料理グループ」の作ったカレーを食べていただきました。

班長会の方から感想をいただきました。「毎年恒例のボランティア活動として、今年も福祉施設の清掃活動を実施しました。少し蒸し暑かったですが、

ペンキ塗り、除草、窓拭き、洗車などを行い、キレイな施設が更にキレイになったのではないかと思います。」

豊田自動織機の皆さん本当にありがとうございました。



半田商工会議所から 優良従業員表彰を受けました!!

りんりんヘルパー 榊原 律子さん

暇つぶしに受けたヘルパー研修からつながって、平成8年9月からりんりんへ。失敗も多いけれど、今では自分に合った仕事だと思っています。

話し下手な私でも、掃除やお料理をするだけで喜んでくれます。私が訪問すると、いつも嬉しそうに迎えてくださる利用者さんたちがいます。支えてくれるりんりんの仲間たちがいます。このたびの表彰も私より先輩はたくさんいらっしゃるのにも思いましたが、ありがたいことです。これからは皆さんから学ばせてもらいながら、力をもらって、元気な限りやっていきたいです。



平成27年(2015) 10月

No.65

発行/特定非営利活動法人 りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL(0569)21-3646 FAX(0569)32-6623
http://rinrin.or.jp E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援が
りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

河端喜久子 榊原 正子(敬称略)

平成27年度賛助会員

水野 恵子 福田 悦子(敬称略)

りんりんのできごと

7月・8月 ・寺子屋「やなべっ子ハウス」 全10回

- ・愛知県職員採用2年目11人がNPO現場体験研修
- ・半田商業高校・日本福祉大学付属高校・半田中・武豊中の学生さんが職業体験や実習など
- ・TV取材「どう選ぶ? ついの住みか」

9月 ・日本福祉大学の学生さんがサービサーニング実習



TV取材の様子

～ ヘルパー研修会 ～

6月	認知症ケアパスの活用方法	41名
7月	「緊急時の対応」事例検討	47名
9月	「生活困窮者自立支援法」について	37名

多世代交流事業

	6月	7月	8月	9月
生き生きサロン	122名	178名	127名	159名
さをり織り	32名	27名	休み	34名
絵手紙	16名	9名	18名	22名

(延べ利用人数)

会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合計
26名	78名	100名	204名

(H27/9月末現在)

特定非営利活動法人 りんりん



「にぎやかで大きな家族ごっこ」を

想像もしていなかった豪雨災害に被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。決して他人ごとではなく、どこにでも起こりうる甚大な自然災害を覚悟し、備えておかなければならないと思い知らされました。

りんりんは、「0才から100才までみんなで支え合えるまち」を目指して活動を進めています。現在新築中の子育て支援の拠点は、12月にはお披露目できる予定です。人数が増えて狭くなったりんごクラブはここに移動します。窓からは矢勝川の彼岸花が一望できる素敵な場所です。これまでりんりんの活動を支えてくださった方々のお蔭で実現できることに感謝申し上げ、みなさんにも足を運んでいただける場にしていきたいと考えております。

ますます元気な「じいじ&ばあば」の力を借りて、「地域で子育て」を実践していく場にします。先人の生活の知恵や技を披露・伝授してもらおう場として、また子どもたちにとっては家族以外のいろんな大人に出会う場として。両親共働きが当たり前、単身親家庭も増える一方の昨今、家族以外の大人の力は、子どもの成長過程になくてはならない存在になっています。褒められたり叱られたりしながらも、大事にしてもらった記憶は、子どもの心のどこかに残り、それが自己肯定や、「人」を



大事にすることに繋がるからです。「にぎやかで大きな家族ごっこ」の実践です。あたたかいごはんの味と味噌汁のおいしさを伝えることから始めていきます。

代表 下村 裕子

寺子屋「やなべっ子ハウス」

半田市「子どもの学習支援事業」

昨年に引き続き寺子屋企画「やなべっ子ハウス」を実施しました。岩滑地区の方々にお手伝いいただき、公民館で週一回(月曜日)の学習支援をしました(夏休みの宿題中心)。

7/31は実験でイクラ(食用)やスライムを作り、おやつにはとうもろこしの粒をビーカーに入れ、ポップコーンを作って食べました。

8/20はお笑い芸人「大迷惑」が来てくれました。漫才を見てゲームをしました。

8/27「小さい子と遊ぼう」では新聞紙を破ったりたたんだりホール中がまるで新聞の海。思いっきり遊びました。



りんごクラブの夏休み

“名古屋市でんきの科学館”へ



“輪投げ”



みんな真剣“流しそうめん”



“ドッチボール大会”



りんごハウス(仮)お披露目のお知らせ

12月12日(土) 10:00～セレモニー お餅つき

※お披露目 岩滑高山町5-1りんごハウス(仮)にて開催

※作品展 「絵てがみ・さをり織り」りんりん事務所1Fにて開催

認知症理解促進講演会

認知症サポーター養成講座

9月27日、雁宿ホールで開講されました。りんりんの渡邊千恵副理事長がパネリストのひとりとして加わりました。

1部では、「認知症を正しく理解する」の演題で、国立長寿医療研究センター副院長の鷺見幸彦氏の講演がありました。

認知症の特性と正常な知的機能老化との違いを分かりやすく話された。認知症を早期に発見し治療すれば、完治しなくても、進行を遅らせることで天寿を全うすることも可能と。

2部では、鷺見氏をコメンテーターに、4人のパネリストがそれぞれの立場での経験話し、聴衆も共感をしているようでした。半田市では認知症初期支援チーム通称「HOST」という取り組みをはじめました。愛知県では3番目ということです。

また、10月1日から登録を開始する「半田市高齢者見守りメール」も、認知症の高齢者が行方不明になった際、地域での大きな協力体制になることでしょう。



プラチナカフェ りんりん店



「いらっしゃい!どうぞこちらへ!」認知症の方やご家族たちを温かく迎えるのは、りんりんのスタッフです。さりげない心くばりや軽快なトークが、ゆったりと温かな時間の流れを作ります。カフェに集うお一人おひとりが生き活きと素晴らしい笑顔を見せてくださいます。プラチナカフェは、認知症ご本人の居場所・ご家族の寄り合いどころです。経験豊かなスタッフがいますので、認知症に関する知識・制度を知ることやお茶を飲みながら相談もできます。申し込みはいりません。直接りんりん茶屋へどうぞ!!

プラチナカフェ
りんりん店
毎週火曜日
(祝日は休み)
10:00～14:00



研修を終えた県職員の皆さんからの「一言」

・名古屋北部県税事務所 土本 和範さん
鉛筆を持ちながら遊ぶ二人の子どもを見つけた時危険と思い、とっさに注意をしました。それから僕を見る目が変わったように感じます。それまでの「遊んでくれる人」から一歩踏み出せたかな。

・知多県税事務所 田村 英祐さん
最初はかなり緊張しましたが、毎日を過ごす中で、多くのことを学ぶことができ、貴重な体験をさせていただきました。また学童保育のあり方についても考えることができました。

・愛知県環境部 地球温暖化対策室 藤井 裕介さん
子どもたちの旺盛な好奇心や物事を吸収する速さに驚くと同時に、今があるのは人生の大先輩方のおかげなのだと感じた研修でした。様々な目線に立ち、広くアンテナを張ることの大切さを学びました。

・あいち産業科学技術総合センター 発酵バイオ技術室 沖塚 翔太さん
子どもたちと過ごした時間から、叱ることの難しさや、全体に目を配る大変さを体験しつつも、楽しい時間を過ごすことができ、充実した研修でした。

・半田保健所健康支援課地域保健グループ 堀江孝太郎さん
下村さんの「私たちは民間だからできることをやっているだけ。」という言葉が、自分の中でとても印象に残っており、「行政としてやるべきこと、自分が行政でできることは何か。」を改めて考えていこうと思いました。

・愛知県西部家畜保健衛生所 保健衛生課 杉江 建之介さん
大勢の子どもたちに振り回されつつも、たくさんの元気をもらいました。最後にもっと欲しいと言ってくれたのが何よりも嬉しかったです。これからも活気あふれるりんりんで行ってください。

・愛知県知多建設事務所 維持管理課 彦坂 尚登さん
りんりんの活動は、地域には欠かせないとても重要なものだと感じました。このような施設があるのだと知ることができ、自分の県職員としての仕事を見つめ直す良い機会となりました。

・愛知県健康福祉部障害福祉課 こころの健康推進室 河崎 祐輝さん
子どもたちと遊ぶのは、楽しくもありましたが、人との関わり方を考えさせられたり、刺激的でした。ふだん、目の前にいないかわいい県民と直に関わることで、自分の仕事を見つめなおす機会になったと思います。

・愛知県名古屋東部県税事務所 大藪 真也さん
自分の職務分野とは全く異なる仕事内容に戸惑うことも多くありました。しかし、その中で子どもたちの感性や感覚に刺激を受けた場面も今回の研修が今後の自分にとって様々な影響を与えてくれることでしょう。

・横須賀高校事務室 早川 航平さん
りんりんの子どもたちは、いつでも笑顔にあふれていました。このことが施設の素晴らしさを物語っていると思います。今後このような施設が増えていけばと思いました。